

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立長坂台小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒921-8112
 石川県金沢市長坂3丁目14番1号

E-mail : nagasakadai@kanazawa-city.ed.jp
 Website : http://kanazawa-city.ed.jp/nagasakadai-e/

児童生徒数：男子 203名 女子 189名 合計 392 名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

3年生（総合的な学習の時間）

人がつながるまち金沢

金沢は、全国の中でも和菓子の消費量が多く、和菓子で有名な街であることを知ったことをきっかけに、調べ学習を進めていった。その結果、和菓子は、季節や行事に応じて食べられていることやお茶文化が盛んだったことから、人々の生活に根付いていったことなどが分かった。さらに、和菓子を作ったり食べたりする背景には、家族の健康や子どもの健やかな成長を願う人々の思いが込められていることにも気づくことができた。

和菓子工場を見学したり、和菓子屋さん和菓子作り体験をしたりして、職人さんの技術やこだわりについても学ぶことができた。また、茶道クラブのお茶会に招待され、作法を知ったり、おもてなしの心に触れたりすることもできた。

4年生（総合的な学習の時間）

語り継ごう わたしたちのふるさと 金沢

まず、長坂台に語り継がれてきた伝統的な物として、大乘寺や六地藏、長坂埜神社、孝子義士の碑、野田山墓地について調べた。また、校区を流れる長坂用水や金沢市を流れる主な用水について調べた。さらに、世界に誇れる金沢の偉人についても調べ、語り継ぎたい金沢について考えることができた。

長坂台に伝わる踊り「あさんがえし」については、3年生の時に保存会の方を招いて、その由来や振り付けの意味、踊りを教えていただいたことを生かし、運動会で踊りを発表することができた。保存会の方、地域の方、代々踊りを受け継いできた上級生、下級生も踊りの輪に入ってくれ、大きな輪になったことで、子ども達は、踊りを受け継ぐことができた喜びを実感することができた。

長坂用水の学習では、当時用水を作った人々の努力や工夫を学習し、実際に隧道の中を見学したり、道具を触らせてもらったりすることができた。また、市役所の方から、金沢の用水の歴史や今後の課題なども聞くことができた。この学習を通して、先人の願いや努力、伝統を守ることの大切さを知り、これらを守り伝えるために自分達ができることを考えることができた。

金沢の偉人については、一人一人調べたい人物を決めて調べ、新聞にまとめたり、発表したりした。ふるさとを思い、また目標に向かって努力する素晴らしさを感じることができた。

5年生（総合的な学習の時間）

長坂台の環境は今…

わたしたちの通う長坂台小学校の前には大きな道路があり、交通量も多い。しかし一方で、学校の裏には田畑が広がり、交通量はほとんどない。そこで、それらの道路では空気中には違いがあるのかどうかを調べることにした。

グループに分かれて長坂台校下の6つの交差点の交通量と二酸化炭素量を測定した。6つの交差点は、児童らが交通量が多いと予想した3カ所と交通量が少ないと予想した3カ所である。15分間にトラックなどの大きな乗り物、バス、自動車、バイクが何台通るかを数え、気体検知管を用いて交差点の二酸化炭素量を測定した。その結果から、交通量が多い交差点ほど二酸化炭素量も多いということが分かった。

学習のまとめとして、二酸化炭素が増えると地球温暖化につながることを知り、自分たちにできることはないか考え、なるべく自転車や公共の乗り物に乗るようにすることが大切だという思いを持つことができた。この思いを忘れず、環境についてより考えていけるようにしたい。

6年生（総合的な学習の時間）

ひびきあおう 今自分にできること

長坂の町は、長坂の町に住んでいる人たちのだれにとっても住みやすい町だろうかという疑問から地域に住んでいる人たちに視点を置いて、学習をスタートさせた。お年寄りや障がいのある人にとっても住みやすい町なのかを考えるために、「だれもが住みやすい町とは」をテーマにして学習を進めた。

まず、お年寄りや障がいのある方の思いに触れるために、お年寄り体験や車いす・目かくし体験を行った。お年寄りになると思うように体が動かないことや、車いすは段差があると越えられないことや操作の難しさを体験し知ることができ、障がいのある方は不便なことがたくさんあるのではないかと感じた。

次に、盲導犬ユーザーの方や車いすバスケットボールクラブの方々との交流を行った。盲導犬についての説明を聞いたり、車いすバスケットボールと一緒に体験したりすることができた。ユーザーの方や車いすバスケットボールクラブの方々のお話から、苦勞だけでなく日々の楽しみも教えていただき、道具や手助けしてくれるものがあれば、健常者と同じように生活できることや、声をかけてもらえるとうれしいということを知った。そのことから、障がいがあるということや自分にできることはないかということについて向き合って考えることができた。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）